

学校規模等適正化に関する説明会（西牧野小学校）における質疑回答

1. 日 時 平成 28 年 6 月 30 日 午後 7 時から午後 9 時
2. 場 所 西牧野小学校 図書室（参加者 60 名）
3. 事務局 管理部：俣野参事、益田参事、兼瀬課長、北村主幹、松尾代理、
田中主任、廣瀬
学校教育部：花崎次長

4. 内 容

（質問 1）

学校統合になると、運動場の学校開放はどうなるのか。

（回答 1）

学校統合後の跡地活用にも関わる内容ですので、避難所の在り方も含めて全庁的な取り組みとして、皆様方の声をお聞きしながら決めさせていただきます。

（質問 2）

小倉小は校庭が狭いが、西牧野小はとても広いので、学校開放に関しては幅広く活用できるのに、なぜ小倉小に統合しなければいけないのか。

（回答 2）

西牧野小は小規模校としてのデメリットを解消するため、小倉小との統合が有効的なものとして答申が出されました。

（質問 3）

小倉小がこちらにきたらいい。小規模校のデメリットにある、協調性がないなどは、実態と違うのではないかと感じる。

（回答 3）

適正化方策に関しては、5つの視点から比較・評価し、それらを総合的に検討した結果、今回の答申として判断されたものです。

（質問 4）

学校周辺は新規の住宅開発が進んでいることから、平成 32 年から 37 年に一旦、適正規模に戻るとされているが、それまでは統合されないということか。

（回答 4）

本校区の児童生徒数の推移によりますと、一旦適正規模に戻る時期があります。また、住宅開発などが進んでいく中で児童数が増加する可能性もあり、2つの統合案は決定したものではなく、今後の児童生徒数の推移を見定めてまいります。

（質問 5）

仮に、小倉小へ統合になると、通学距離としては牧野北町が 2 km 以上で一番遠い。渚西中と統合となると通学距離は更に遠くなる。また、見守り隊は 60 人体制で、この 10 年間無事故の実績がある。統合されると通学距離が遠くなり、60 人では対応できない。その場合、マイクロバス等は手配してくれるのか。

（回答 5）

渚西中へ統合する場合は、地域によっては通学距離が長くなりますので、公共交通機関の利用なども視野に入れて検討してまいります。

(質問6)

児童数だけの視点で統合を進めようとしていることに違和感がある。また、通学路の安全面についてはとても心配で、その視点では決めていただいたのか疑問。子どもの実態をご存知なのかどうか。切磋琢磨が必要という点、適正規模でないと駄目というなら、西牧野小の少人数の教育を否定しているように聞こえる。現場の先生方が、子ども達にとってどういう教育がいいと思って指導しているのかも反映して欲しい。また、交通費の事もあるがそもそも公共交通機関を使ってまで行く必要があるのか。

(回答6)

枚方市では1学年1クラスの児童数に関する編制基準が定められており、統合により必ずしも1クラスの児童数が増えるものではありません。通学路については、学校統合の有無に関わらず、安全性の確保に努めてまいります。また、「子ども達のために」という視点は、日常的な考えとして校長を筆頭に取り組んでおり、教育委員会としても同様の考えです。クラスの人間関係が良好な場合は良いですが、1クラスではクラス替えができない状況で、仮に問題が発生した場合は、ずっと引きずってしまう大変さがあります。新しい友達をつくる機会もなくなってしまいます。そのようなことから2クラス以上ある方が、子ども達にとっては良いと考えます。また、公共交通機関を利用するための費用については、教育委員会が負担します。

(質問7)

小学校にあがったばかりの児童が遠距離を歩くのは現実的ではない。また、電車などの公共交通機関の利用についても、毎日駅までの送迎は困難である。

(回答7)

ご指摘の点も踏まえながら、スクールバスなどの利用も視野に入れた検討を行ってまいります。

(質問8)

満員電車という状況の中で不安があるため、公共交通機関の利用については考えて欲しくない。また、クラス替えの件は理解できるが、クラス内で一つ一つ課題を解決していく指導をして欲しい。

(回答8)

公共交通機関の利用に関しては、提案をさせていただいたもので決まったものではありません。また、小規模校の校長によりますと、児童間にトラブルがあった場合、少人数だと逃げ場がないと聴いています。クラス替えができれば、児童の人間関係に配慮しながらクラス替えを行うことで解消できることもあるものと考えています。

(質問9)

説明会の周知方法については、小学生の子どもがいないので、工夫して欲しかった。また、12クラスあれば、西牧野小は統合されることはないということか。

(回答9)

周知方法については、校区コミュニティ協議会から通知文を回覧していただきましたが、不徹底であれば今後の課題とします。また、適正規模を維持していれば学校統合する必要はないものと考えます。

(質問 10)

統合して校区が広がると心配。児童の安全という点を第一に考えていただきたい。

(回答 10)

通学区域の変更のみでは、進行する少子化への抜本的対策とはならないため、統合という形でお示しました。また、通学路については、学校統合の有無に関わらず、安全性の確保に努めてまいります。

(質問 11)

統合に関してはいつ決定して、いつから統合されるのか。

(回答 11)

現時点の将来推計から実施時期をお伝えするのは難しいですが、年度毎に児童生徒数の推移を見定めながら判断していく必要があります。また、あわせて住宅開発の動向なども含めて判断したいと考えています。

(質問 12)

小中一貫校について、全国的に行われている統廃合した学校の状況、公共交通機関を使っている状況や、集団登校の状況などを教えて欲しい。また、統廃合によって、人間関係が良好になったり学力が向上したりするのか。説明会の開催通知には、統廃合の説明がなかったので、保護者にわかりやすい通知文にして欲しかった。

(回答 12)

先進校の小中一貫校へ視察し、意見交換に行ってきました。その中で第一に「中1ギャップ」が解消されたと聞いています。また、中学生への厳しい生徒指導教育を低学年が見ているうちに、小学生にもよい影響があるとの報告もあります。中学生における思春期の心の荒れが小学生に影響するのではと心配していましたが、そのような影響はないとのこと。さらに、学力面においても、中学校の英語教師が小学校の高学年へ指導することにより学力が向上しており、小中の教員の連携もできるなどのメリットや学校の満足度調査を行った際も大変良い結果になっていると聞いています。また、今後は、通知文の内容については、わかり易さに配慮して対応してまいります。

(質問 13)

跡地利用については売却が想定されるが、避難場所が遠くなったり、学校敷地が使えなくなることについてはどのように考えているのか。

(回答 13)

学校敷地の一部を民間事業者に売却し、その売却益で新たな学校を整備していく選択肢は考えられます。また、跡地活用については、皆様のご意見等をお聞きしながら、全庁的な取り組みとして検討してまいります。

(質問 14)

小中一貫校になった場合、児童生徒数が1,100人程度の大規模校となり、学校整備する際に莫大な費用がかかる。答申にはコスト面の記述がない。財政面も考えて取り組んで欲しい。

(回答 14)

審議会では、施設整備に係る財政面の検討はされていません。今後は、学校整備に要する財源の確保策として、補助金の活用や起債の充当などについて検討してま

います。

(質問 15)

学校統合は、強制的に決まってしまうのか。説明会を開いて、それで決めてしまうのか。今後の意思決定はどのように考えているのか。

(回答 15)

本日の説明会は、答申の内容を適切に説明するとともに、今後、学校規模等の適正化に関する基本方針を取りまとめるにあたり、皆様から様々なご意見をいただくことを趣旨とするものです。

(質問 16)

答申の位置付けがわからない。市教委はこの答申に縛られるのか。基本方針は最終決定なのか。それを決定する場はどこか知りたい。

(回答 16)

教育委員会としましては、基本的に答申を尊重すべきと考えますが、絶対的なものではないと捉えています。今後は、説明会の中でいただいた様々なご意見等も参考にしながら基本方針を取りまとめていきたいと考えています。その後、各学校ごとの統合の実施時期や方策などについて、改めてご意見を伺い、「実施プラン」として方策を策定します。

(質問 17)

統合の対象校から外れるということはないのか。

(回答 17)

現時点における将来推計からは、外れることはないと思われれます。どちらの統合方策を採用するのかについては、「実施プラン」の中で明確にしていまいります。

(質問 18)

検討対象校から外れないということは、説明会を定期的に催し、児童数の推移などについても情報がもらえるのか。

(回答 18)

児童数の推移などに予測を超える事態が生じた場合には、改めて皆様の声をお聞きしながら、適切な対応を行っていく必要があるものと考えています。

(質問 19)

統合すると最速でいつになるのか。

(回答 19)

現時点における明確な実施時期はお示しできませんが、平成 35 年から 40 年の間ぐらいになるものと想定されます。今後は、児童数の推移や周辺の住宅開発の動向などを見定めてまいります。

(質問 20)

枚方市として人口減少対策について、市長をはじめ考えていただいているが、西牧野小校区としても少子化対策できるようにがんばっていききたい。

(回答 20)

定住人口確保策や人口誘導策については、市におきましても全庁的な取り組みとして「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するなど、さまざまな観点から検討が進められています。

(質問 21)

小中一貫校の取り組みで学力について述べられたが、施設一体型でなくても枚方はすでに取り組みを進めている。小中一貫校（施設一体型）については、メリットデメリットについて、今後は丁寧に説明しながら進めて欲しい。

(回答 21)

小中一貫校（施設一体型）については、小中一貫教育の担当部署と連携をとりながら進めてまいります。

(質問 22)

統合後、幹線道路を通学するとなった場合、車の排気ガスなどで児童への健康面の影響について、教えて欲しい。

(回答 22)

教育委員会としては把握できていませんので、今後の課題といたします。

(質問 23)

小規模校のデメリットがいろいろ挙げられていたが、大規模校についても同様である。適正化といっても、少人数化対策のための妥協案でしかないと思う。小規模校に対して失礼な内容になっている。

(回答 23)

ご指摘の点も踏まえながら、基本方針を取りまとめていく上で、表現方法などについて検討してまいります。